



コミュちゃん

コミュニティ・スクール通信 NO.13

～ 地域未来塾・放課後学習教室～

発行/令和5年9月

発行者/学校教育課

担当/地域学校連携支援マネージャー石谷

狛江市におけるコミュニティ・スクール（CS）は2年目を迎えました。今年度も、その活動や推進の様子を「コミュニティ・スクール通信」と題して、分かりやすくお知らせします。

地域未来塾は「地域とつながる三種の神器」の一つ

東京都は、「コミュニティ・スクール、地域学校協働活動、地域未来塾」について、各自治体の導入状況を調査しています。その結果、この三つ（三種の神器）をすべて行っている自治体はそう多くはないことが分かっています。その意味で狛江市は、令和2年度に地域学校協働活動、令和4年度よりコミュニティ・スクールを正式に導入し、四中ゾーンでは、地域未来塾として「放課後学習教室」を今年度から導入を始めており、他自治体から一歩進んでいる状況です。

「地域未来塾」は「学校の授業終了後又は休業日において学校、社会教育施設等で行う学習、その他の活動」と位置付けられている学習支援事業です。

現在、学校現場では子ども一人一人に寄り添った教育（個別最適化）を考えることが必須となっています。一斉授業でどうしても理解度に差ができてしまう事実をどう埋めていくかが、各学校運営協議会でも話題となっており、本事業が期待されています。



＜学校と学校運営協議会委員との話し合いから生まれた放課後学習教室＞

校長 児童・生徒の多様な家庭環境が影響して、学力の二極化が進んでいます。学習の遅れは不登校にもなりかねず、学習遅滞の児童・生徒の底上げが喫緊の課題です。

委員 今、放課後の子どもたちの学習環境を整える学習サポートプロジェクトを進めていますが、私たちに出来る事はありますか？

校長 自習場所の提供だけでなく、教えて下さるボランティアは募集できないでしょうか？

委員 成城大学の学生さんや、近隣の大学生さんたちに声をかけてみます。

校長 補習場所については、副校長と考えておきます。

＜市内で先駆けて実施している四中ゾーンの放課後学習教室＞



四中ゾーンは、小中学校でそれぞれ「放課後学習教室」を取り入れています。学習に遅滞がなくても、希望者は登録でき、毎週水曜日の放課後に約一時間、集中して学習に取り組んでいます。



教えてくださるのは、四中卒業の大学生や狛江市と包括的連携協定を結んでいる成城大学の学生のみなさんです。

